

大使館情報

2019年2月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢等（1月発表の経済指標）
- (2) 経済政策等
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢（1月の出来事）

[内政]

- (1) ボルソナーロ政権発足
- (2) セアラ州における暴動事件
- (3) 第2回閣議の開催
- (4) 銃所持の規制緩和に関する大統領令
- (5) 年金不正受給対策に関する暫定措置令
- (6) 「ボルソナーロ政権が最初の100日間で達成すべき35の目標」
- (7) ミナスジェライス州鉱滓ダム決壊事故
- (8) ボルソナーロ大統領の手術入院

[外交]

- (1) 新大統領就任式への各国代表の出席
- (2) 対ベネズエラ関係
- (3) ダボス会議

3. トピックス

- (1) 日・ブラジル首脳会談
- (2) 平成31年新年会及び平成30年秋の叙勲伝達式
- (3) 第48回餅つき祭りへの参加（在サンパウロ総領事館）
- (4) 「ARCHITECTURE FOR DOGS」のオープニング・セレモニーへの参加（在サンパウロ総領事館）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢等（1月発表の経済指標）

(ア) 中銀が週次で発表しているエコノミスト等への調査に関して、1月25日時点で、GDP成長率予測については、2019年は2.50%で先週2.53%から減少、2020年は2.50%で先週2.60%から0.10%減少した。インフレ率については、2019年は4.00%で先週4.01%から減少、2020年は4.00%で先週と変わらず。

(イ) 11月の鉱工業生産指数は、前月比+0.1%、前年同月比は▲0.9%でマイナスに転じた。

(ウ) 11月の小売売上高は、前年同月比+4.4%で先月の+1.9%から上昇したほか、前月比+2.9%と3ヶ月ぶりに増加に転じた。

(エ) 全国の失業率（10～12月の移動平均）は11.6%となり、前回の公表値（9～11月の移動平均）と同じであった。

(オ) 12月の貿易収支は、輸出額は195.56億ドル（前年同月比+11.14%、前月比▲7.27%）、輸入額は129.17億ドル（前年同月比+2.53%、前月比▲23.40%）で、差引き66.39億ドル（前年同月比+32.84%、前月比+57.05%）となり、46か月連続で貿易黒字を記録した。2018年1月～12月の貿易収支は、輸出額は2,398.89億ドル（前年比+10.17%）、輸入額は1,812.30億ドル（前年比+20.22%）で、差引き586.59億ドルとなり、対前年比で黒字額は▲12.44%となった。

(カ) 12月の拡大消費者物価指数（IPCA）は単月で+0.15%となり、前月の▲0.21%から上昇した。2018年1月～12月では3.75%となり、政府のインフレ目標（4.5%±1.5%）内の水準で推移している。

(2) 経済政策等

(ア) ボルソナロ大統領は、ダボス会議のオープニングスピーチにて、税負担の軽減、規則の簡素化、マクロ経済の安定、民営化、公的財政の均衡、治安対策等に取り組むと発言。

(イ) 世銀は昨年6月に2018年のブラジルの成長率を2.4%と予想していたが、1.2%へ大きく下方修正。2019年の予想成長率も従来の2.5%から2.2%へ下方修正する一方、2020年の成長率は2.4%で維持。

(ウ) IMFは2019年のブラジル経済の成長率を2.5%、2020年の成長率を2.2%と予想。2018年の経済成長率が1.3%の成長率を記録すれば、回復が勢いを獲得し、危機サイクルから離脱すると述べている。しかし、年金制度改革が進まない場合、予想以下の結果になるとIMFはコメント。

(エ) ゲデス経済大臣は、1月の経済大臣就任演説において、年金制度改革や税制の簡素化と減税、経済開放の推進などの構造改革が重要と発言。特に、年金制度改革の実施を最優先課題に掲げる。

(オ) さらに、ゲデス経済大臣はダボスでブラジル紙とのインタビューで、国外の投資を誘致するために、現在平均で利益の34%に達している法人所得税を15%へ削減する事を検討していると述べ、「全ての国が減税を行っている」と述べた。

(3) 中銀の金融政策等

次回金融政策委員会は、2月5日及び6日に開催予定。

(4) 為替市場

(ア) 1月の為替レートは、新政権への期待感からレアルが買われ、月半ばにやや反発があったものの1ドル3.89レアル台後半から3.6レアル台までレアル高が進んだ。月末の終値は1ドル3.644レアルとなった。

(イ) 月の前半は、新政権発足への期待感からレアル高が進む傾向となった。

(ウ) 月の後半は、新政権の政策実現可能性が不確実で方向が定まらず、外部要因によってリスクセンチメントが悪化し、レアル売りが進むも、月末には米国の金融政策が利上げに慎重なハト派の見解を示したこと等により、レアル買いが進行した。

(5) 株式市場

(ア) 1月のブラジルの株式相場（Ibovespa指数）は、民営化推進などの新政権への期待感から右肩上がりとなった。

(イ) 月の前半は、ブラジル買いの様相から日々過去最高額を更新するような状況。

(ウ) 月の後半は、引き続きブラジル新政府への期待感から最高額を更新する日々が続いたが、鉱滓ダム決壊により、株安が進行。それ以降は、過去最高の水準（24日終値：97,677ポイント）まで値を戻している。

2. ブラジル政治情勢（1月の出来事）

【内政】

(1) ボルソナーロ政権発足

1月1日、ボルソナーロ新政権発足。省庁再編で閣僚ポストは計22へ削減。

(2) セアラ州における暴動事件

1月2日以降、セアラ州各地において、犯罪組織による暴動が発生し、急激に治安が悪化した。4日、モーロ法務・治安大臣は国家治安維持部隊の派遣を決定。12～13日、同州フォルタレザ市で襲撃事件が再燃し、再び治安悪化。

(3) 第2回閣議の開催

1月8日、第2回閣議が開催され、連邦政府は年金制度改革3本柱を決定（①不正受給の撲滅、②年金受給開始年齢の引下げ等の制度改革、③個人積立勘定方式に基づく新制度の導入）。

(4) 銃所持の規制緩和に関する大統領令

1月15日、ボルソナーロ大統領は、銃所持の規制緩和に関する大統領令に署名した。

(5) 年金不正受給対策に関する暫定措置令

1月18日、ボルソナーロ大統領は、年金の不正受給対策に関する暫定措置令に署名した。

(6) 「ボルソナーロ政権が最初の100日間で達成すべき35の目標」

1月22日、文官庁は、「ボルソナーロ政権が最初の100日間で達成すべき35の目標」を発表した。

(7) ミナスジェライス州鉦滓ダム決壊事故

1月25日、ミナスジェライス州ブルマジーニョ市の鉦滓ダムが決壊。ボルソナーロ大統領は同日中にヘリコプターで視察。

(8) ボルソナーロ大統領の手術入院

1月27日、ボルソナーロ大統領は、人工肛門摘出手術を行うためサンパウロ市内アルバート・アインシュタイン病院に入院した。大統領府は、手術は28日に行われ無事成功した旨公表。

【外交】

(1) 新大統領就任式への各国代表の出席

1月1～2日、ジャイル・ボルソナーロ大統領は、大統領就任式に出席したピネラ・チリ大統領、ポンペオ米国国務大臣、レベロ・デ・ソウザ・ポルトガル大統領、オルバーン・ハンガリー首相等と会談。日本からは山口泰明衆議院議員が特派大使として就任式に出席。

(2) 対ベネズエラ関係

(ア) 1月10日、伯外務省はプレスリリースを発出し、マドゥーロ大統領が大統領任期を新たに開始したことを受け、民主的に選出されたベネズエラ国民議会に対する広範な支持を改めて表明。

(イ) 1月17日、アラウージョ外務大臣は、ベネズエラの民主的政治勢力の要人(ミゲル・アンヘル・マルティン最高裁長官や同国最高裁判事、グスタボ・シノシOAS特使等)と会談。

(ウ) 1月23日、ベネズエラ最高裁がグアイド国会議長の暫定大統領就任を承認したことを受け、伯外務省も同日付でこれを承認する旨プレスリリースを発出。

(3) ダボス会議

(ア) 1月22～25日、ボルソナーロ大統領は、初の外遊先としてスイスのダボスを訪れ、世界経済フォーラム年次総会(ダボス会議)に出席した。

(イ) 右外遊は、ゲデス経済大臣、エレノ安全保障局長官、モーロ法務・治安大臣、アラウージョ外務大臣、マルティンス大統領外交担当補佐官等が同行。

(ウ) ボルソナーロ大統領は、22日の開会セッションで、①市場開放、②行政手続きの簡略化、③治安の改善を通じてビジネス環境の改善を図る旨発言。環境にも配慮する旨強調。

(エ) 同22日、ボルソナーロ大統領は、ダボス会議に出席した各CEOとの会合において、当面の間パリ協定から離脱しない旨発言。

(オ) 23日、ゲデス経済大臣は、年金制度改革及び民営化に期待される効果や法人減税等について述べた。

(カ) 23日、ボルソナーロ大統領は、安倍総理と初の日ブラジル首脳会談を実施。更に同日には、コンテ伊外相、マウラー・スイス大統領、ブレア元英国首相等と会談。最終日の24日には、チェコ、ポーランド、オランダ、南アフリカ及びコロンビアの首脳とも会談を実施。

3. トピックス

(1) 日・ブラジル首脳会談

1月23日16時55分(現地時間)から約30分間、世界経済フォーラム(WEF)年次総会(通称「ダボス会議」)出席のため、スイス・ダボスを訪問中の安倍晋三内閣総理大臣は、ジャイル・ボルソナーロ・ブラジル連邦共和国大統領(H.E. Mr. Jair Bolsonaro, President of the Federative Republic of Brazil)との間で首脳会談を行ったところ、概要以下のとおり。

(ア)冒頭、安倍総理から、本年1月の大統領就任をお祝いするとともに、ボルソナーロ大統領を大阪G20サミットにお迎えすることを楽しみにしており、サミットの成功に向け連携していきたい旨述べた。これに対し、ボルソナーロ大統領は、訪日を楽しみにしていると述べた。

(イ)続いて、両首脳は、本年のG20において、自由貿易の推進やイノベーションを通じて世界経済の成長を牽引し、経済成長を目指すと同時に格差への対処に取り組むこと、さらに、地球規模課題への貢献につき協力することで一致した。また、安倍総理から、サミットに向けた日本の優先アジェンダを説明して協力を求めたのに対し、ボルソナーロ大統領から理解が示され、両国は引き続き、緊密に連携していくことで一致した。

(ウ)さらに、安倍総理から、ボルソナーロ大統領が取り組む経済自由化や通商外交の強化を高く評価する旨述べ、また、両国関係における日系社会の重要性を強調した。これに対しボルソナーロ大統領は、幼少期から日系社会に触れる機会があり、日本は親しみを感じる国である旨言及しつつ、ブラジルの成長において日本との協力は極めて重要である旨述べた。

(エ)両首脳は、今後、幅広い分野における協力を一層推進することで認識を共有した。



日・ブラジル首脳会談
(写真提供：内閣広報室)



日・ブラジル首脳会談
(写真提供：内閣広報室)

(2) 平成31年新年会及び平成30年秋の叙勲伝達式

1月30日(水)、在ブラジル日本国大使公邸にて平成31年新年会及び平成30年秋の叙勲の伝達式が開催され、政府関係者や連邦議員、日系社会関係者など約340名の方々が出席した。

新年会では、日本ブラジル両国歌の演奏後、山田大使が新年の挨拶を述べた。山田大使は挨拶の中で、ブラジルで新政権が発足した今年、日系社会との連携強化、そして日・ブラジルの二国間関係のさらなる発展を目指す旨述べた(山田大使の挨拶については[こちら](#)を御参照)。

続いて、叙勲伝達式が行われ、サンパウロ州グワララペス市及びブラジリアで長きに亘り日系

社会を牽引してこられた高橋實氏に「旭日双光章」が、また、教育分野において、日本語及び日本文化の普及に大きく貢献されたタエ・スズキ氏に「旭日中綬章」が、さらに、ブラジルにおける現地行政と日系社会との連携強化に大変尽力されたワルデマル・ヒロシ・ウメダ氏に「旭日双光章」が伝達された。

本レセプションにて、出席者の方々は、新しい年の始まりと3名の叙勲受章者を祝いつつ、和やかな雰囲気の中で食事と歓談を楽しんだ。



レセプション開会の様子



大使挨拶



鏡割り



叙勲受章者3名と山田大使夫妻



メインビュッフェ



会場での歓談の様子

(3) 第48回餅つき祭りへの参加（在サンパウロ総領事館）

12月31日、リベルダーヂ文化福祉協会（池崎博文会長）の主催により、リベルダーヂ・日本広場にて第48回餅つき祭りが開催された。昨年10月の連邦下院議員選挙で当選を果たしたキン・カタギリ氏も参加し、会場では2万袋の紅白餅が配られた。

餅つき祭りにおいて、野口総領事は、2019年には、ブラジルにおいて新大統領の就任、日本において新しい天皇陛下の即位があり、両国はともに大きな変化を迎える年であるが、両国の関係がますます深まる1年としたい旨、挨拶を行った。



挨拶を行う野口総領事



餅つきの様子



乾杯の様子

(4) 「ARCHITECTURE FOR DOGS」のオープニング・セレモニーへの参加（在サンパウロ総領事館）

1月18日、ジャパン・ハウス サンパウロの展示会である「ARCHITECTURE FOR DOGS」のオープニング・セレモニーが開催され、野口総領事が挨拶を行った。本展示会は、本年1月19日から4月7日まで開催されている。



挨拶を行う野口総領事



展示されている作品の例①



展示されている作品の例②



展示されている作品の例③

4. 大使館からのお知らせ

(1) 文化イベント

(ア) イラスト展覧会 (サンパウロ)

日時：2月12日(土)～3月30日(土)

場所：サンパウロ日本文化センター図書館

内容：昨年7月に「日本の郷土料理」をテーマにイラストコンクールが開催された。本展覧会では、ブラジルの小・中学生から寄せられた787作品のうち優秀賞と努力賞を受賞したものを展示する。また「郷土料理」と「絵」に関連して、次のイベントを開催する。

(イ) 「カレンダー展」：(クリチバ総領事館、パラナ元帰国留学生 (APAE X)、クリチバ市役所共催)

日時：2019年2月16日(土) 9:00-17:00、2019年2月17日(日) 9:00-12:00

場所：パラナ州クリチバ市／クリチバ市営市場 (Mercado Municipal de Curitiba Av. Sete de Setembro, 1865 - Curitiba - PR)

入場無料

(ウ) 第8回ミナスジェライス日本祭り (ミナスジェライス州ペロ・オリゾンテ市)

日時：2月22日(金)～24日(日)

場所：エキスポ・ミナス（ミナスジェライス州ベロ・オリゾンテ市）

内容：和太鼓、茶道、漫画、生け花、コスプレ等、日本文化に関する様々なデモンストレーション、ワークショップ、講演等が一斉に集う日本祭り。

URL：<http://www.festivaldojapaominas.com.br/site/>

（エ）日本語ビデオコンテスト

日時：～2019年3月22日までの募集。

場所：ウェブサイト上

参加申し込み方法：https://fjsp.org.br/concurso_video_fundacaojapao2019/

内容：日本語学習者向け奨励イベントとして、日本語を使ったビデオコンテストを開催する。誰でも参加できるビデオコンテストであり、ビデオの制作テーマは参加者の方が住む町の「郷土自慢」となる。3月28日に入賞者が発表され、4月26日に最終結果が発表される。

（2）外務省 海外安全ホームページ

各国の危険情報や安全対策など、海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点が掲載されている。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

（3）ブラジル渡航情報

（ア）危険情報

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっているので、詳細をホームページで御確認下さい。

- ・ブラジリア連邦区（継続）
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市（継続）
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏（継続）
- ・アマゾナス州大マナウス圏（継続）
- ・パラ州大ベレン圏（継続）
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏（継続）
- ・バイア州大サルバドール圏（継続）
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏（継続）
- ・パラナ州大クリチバ圏（継続）
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市（継続）

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspotazardinfo_259.html

（イ）安全対策基礎データ

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査や大使館、総領事館の緊急連絡先が掲載されている。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

（ウ）テロ・誘拐情勢

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html